

テレホン法話

長光寺住職 福島伸悦

「而今（にこん）・・・今でしょ」

昨年の流行語大賞に「今でしょ」と言うのが選ばれました。私は今年目標として今できることを後回しせず今片づけてしまおうと思っています。ところが、人間と言うものは、とかく明日があると思ひ、その日やらなければならないことを怠ってしまうものです。疲れているから明日起きてからやればいやと、もっともらしい理由をつけ、自分に言い聞かせ甘え心を起こしてしまうのです。

「いつやるか？今でしょ」と言うフレーズは、「而今(にこん)」という道元禅師が中国での修行時代に悟った世界観を端的に表した言葉だと思ひます。道元禅師は、「仏道を学ぶ人は、後日に修行しようなどと考へてはいけません。今日、この時をぼんやりと過ごすのではなく、その日、その日、その時、その時を一生懸命勤めなければならない」と諭しています。

人の命ははかないものです。明日やればよいといつてもその明日があるかどうかわからないのが人生です。はかない人生だからこそ、今日一日を精一杯勤め励むべきなのです。

正受老人（しょうじゅろうじん）という方が、村人相手に優しい言葉で人の生き方を語っています。「一大事とは今日（こんにち）只今（ただいま）の心なり」と。人生で一番大切なことは、今日ただいまの自分の心なのだといふ事です。そして、それをおろそかにすると明日（あした）というものはないといふのです。今日やるべきことを明日に持ち越さない・・・「あとでやろう」ではなく、「今やっってしまう」といふ心掛けが大事なことだといふことです。

確信の持てるのは、今、自分が生きていゝこの一瞬だけです。ですから今を大事に力いっぱい生きるべきなのです。